

収 穫 期 到 来

7月下旬に収穫を終えた小麦は、約681haの一般きたほなみの粗麦推定数量が約5万7千俵、10a当たり8.46俵（製品推定数量は約5万1千俵、10a当たり7.62俵、製品推定歩留90%）となっています。前年と比べ粗麦数量は反収1.08俵、製品数量は反収0.96俵下回る結果となっています。種子きたほなみについても前年と比べ粗麦数量は反収0.87俵、製品数量は反収0.61俵下回る結果となりました。



馬鈴薯については8月19日に雨天の中、本組合の坪掘り調査が行われました。結果をみると、男爵の規格内俵数は55.5俵、メークインは52.5俵、トヨシロは68.3俵となっています。男爵・トヨシロについては規格内俵数は前年より高く、ライマン価は前年より低くなっています。メークインについては、規格内俵数・ライマン価ともに前年より低くなっています。コナフブキについては前年より収量が高く、ライマン価は前年より低い傾向です。

また、農業改良普及センターの調査によると、豆類、てん菜の生育はやや早く、「並～やや良」の評価で平年並みの収量が期待できると予想されています。

用 途 別	面 積 ha	粗麦推定数量 俵	製品推定数量 俵	歩留 %	規 格 外 俵
一般きたほなみ (反収)	681.72	57,687 (8.46)	51,920 (7.62)	90.00	5,767 (0.85)
前年		(9.54)	(8.58)	(89.93)	
種子きたほなみ (反収)	57.96	5,238 (9.04)	4,978 (8.59)	95.04	260 (0.45)
前年		(9.91)	(9.20)	(92.83)	
合計	739.68	62,925 (8.51)	56,898 (7.69)	90.42	6,027 (0.81)
前年		(9.56)	(8.62)	(90.15)	

	規格内俵数	10a当たり総俵数	ライマン価
男爵	55.5 (54.5)	60.4 (57.9)	13.4 (13.8)
メークイン	52.5 (53.3)	62.3 (59.9)	12.3 (13.9)
トヨシロ	68.3 (63.2)	78.3 (69.0)	13.6 (16.5)
コナフブキ	—	66.9 (54.6)	18.7 (22.0)

※()内は前年数値

組合長杯 パークゴルフ大会

7月19日、白人の森コースにて組合長杯パークゴルフ大会が開催され、組合員56名が実力を惜しみなく発揮しようと全力でプレーに臨みました。

組合長の挨拶で始まったパークゴルフ大会は、最後まで熱戦が繰り広げられました。終盤には小雨が降り出したものの、プレーは最後まで順調に行うことができました。



青年部 「環境整備事業」 「パークゴルフ大会」

6月23日に青年部の環境整備事業の一環として依田地区の農産物加工センター及びコンバイン格納庫周辺で草刈りが行われました。

青年部の環境整備事業は今年で3年目となり、総勢20名の部員が参加しました。爽やかな汗を流した後は焼肉をしながら部員同士の親睦を深めました。

青年部の皆さん、ありがとうございました。



青年部夏期スポーツ大会が7月5日に依田パークゴルフ場の「俳句村コース」にて、青年部と農協役職員の交流の場として開催されました。

青年部長の始球式で幕を開けたパークゴルフ大会は、青年部と役職員との混合チームで行われ、『ホールインワン賞』が3名出る白熱したプレーが繰り広げられました。天候にも恵まれ、コースのあちらこちらで笑い声が絶えない活気溢れる大会となりました。

終了後の焼肉ガーデン交流会では、新職員の紹介やビンゴ大会で盛り上がりを見せ、皆さん束の間のひと時を楽しんでいました。



女性部下組織 パークゴルフ大会

6月23日、札内農協女性部の下部組織合同交流会がこのほど依田パークゴルフ場で行われ、パークゴルフを通して親睦を深めました。

この事業は、相互の交流を図り、農作業の合間のひと時を楽しもうと、毎年1回女性部と下部組織が実施しており、今年の参加者は組織全体で18名、農協からは高橋組合長、女性部担当理事の2名が参加しました。

各団体混合のチームでプレーは行われ、当日は雨も心配されていましたが朝方には晴れ間が見られ、熱戦が繰り広げられました。

その後、懇親会が女性部担当理事の乾杯で始まり、女性部活動や農協事業についての話が出る中、和やかな懇親会が行われ、交流を深めました。



女性部友の会 夏期研修

女性部友の会の「夏期研修」が6月25日に開催され、中札内農協枝豆工場の施設見学やピータン農園でのイチゴ狩りを楽しみ、部員同士の交流を深めました。今年は友の会の部員10名とお子様4名が参加し、和気藹々と賑やかな1日となりました。

午前中の中札内農協枝豆工場の見学では、枝豆収穫後の袋詰めから液体窒素での瞬間冷凍、分別までの一連の説明をみなさん真剣な面持ちで聞いていました。収穫から加工まで4時間というあっという間の工程を聞いてみなさん驚いていました。直売所では、「そのままえだ豆」や「えだ豆ドラ焼き」「えだ豆焼酎」が販売されており、中札内の美味しい枝豆を堪能することができました。

また、午後からはピータン農園でのイチゴ狩りを楽しみました。甘みの濃い美味しいイチゴにみなさん満足の様子で、「持ち帰って今日の夕御飯のデザートにしよう。」と、お持ち帰り用にたくさん摘んでいる方もいました。

この他に帰路の休憩で「想いやりファーム」に立ち寄り、生のまま飲めるという生乳で作られた完全無添加のソフトクリームを食べるなどして中札内村での有意義な夏期研修を締めくくりました。



女性部 管外視察 ～道央方面～

札幌農協女性部の管外視察研修旅行が7月17日～18日の日程で行われました。同会員10名が参加され、今年度は道央を中心に余市、小樽、札幌、千歳方面を巡りました。

1日目、余市町の山本観光果樹園にてさくらんぼ狩りを行いました。余市町は北海道を代表するさくらんぼの産地であり、園内には「佐藤錦」「水門」「南陽」といった有名な品種があり、部員の皆さんは甘く美味しいさくらんぼに大満足の様子でした。その後、ニッカウキスキー北海道工場を見学し、ニッカウキスキーの歴史を学びました。続いて訪れたのは、ノスタルジックな雰囲気が町全体を包み込む港町、小樽です。異国情緒漂う小樽運河、北海道経済の中心地だったことを思わせる建造物が点在する通りなどを、ロマンチックな気分になりながら散策しました。



2日目は、小樽から札幌へと移動して、白い恋人パーク・麒麟ビール千歳工場の工場見学をしました。どちらの工場も高品質の製品と高度な技術のハイテク工場で、部員の皆さんは、担当者の作業工程等の説明を真剣な面持ちで聞き入っていました。

また、昼食は札幌グランドホテルへ立ち寄り、北海道各地の食材を使った40品が食べ放題のランチバイキングを堪能してきました。

今回の視察を終えて部員の皆さんからは、日頃の疲れも吹き飛ばすような爽快感を味わうことができ充実した2日間を過ごせたとの声を頂きました。

料理サークル 8月例会

女性部の料理サークルによる8月例会が8月6日、ふるさと味覚工房にて行われました。7月例会の『食べ歩き』に続く今回は『クリームコロッケ・ローストビーフ・凍み豆腐づくり』でした。参加者11名は各々料理の腕をふるいました。

昼食の完成に合わせて始まった調理は時間通りに完成することができ、どれも美味しい一品となりました。中でもサクサクの衣を開ければたっぷりのホワイトソースとコーンの味が口の中に広がるクリームコロッケは絶品でした。



シルバーアクセサリ作り

8月11日に当農協2階会議室で女性部生涯学習が行われました。内容は「シルバーアクセサリ作り」で、今回は3回目となります。回を重ねる毎に皆さん慣れた様子で、手の込んだ作品が出来上がりました。

今回作ったシルバーアクセサリは『シルバークレイ』という銀粘土を造形し、焼き、やすりで磨くという工程で比較的手軽に作る事が出来ます。皆さん作品に個性を出そうと、講師の方に教えてもらいながら真剣に取り組んでいました。

最後はピカピカに磨かれたオリジナルのシルバーアクセサリを首にかけ大満足の様子でした。



女性部 1日バス研修

女性部1日バス研修が8月18日に開催されました。今回は三国峠経由で旭川の酒造り資料館・クラフト館を見学し、美瑛の青い池で記念撮影をした後、富良野の四季彩の丘・トリックアート美術館を巡る日程でした。

当日は曇天でしたが、美しい青い池や彩り豊かな四季彩の丘といった名所を堪能することができ、皆さん満足の様子でした。

部員の皆さんは観光地ごとのお土産を買うなど、充実した1日を過ごすことができました。

